

災害廃棄物の受け入れについて

平成24年2月22日

1 大田、品川清掃工場での試験焼却について

(1) 試験焼却の方法

① 試験焼却対象ごみ

東京都により安全性が確認された宮城県女川町の災害廃棄物（木くず等の可燃性廃棄物）

② 試験焼却方法

試験焼却対象ごみの混合比率がおおむね 20% になるように通常の可燃ごみ（以下「通常ごみ」という。）とかくはんして混合したもの（以下「混合ごみ」という。）を焼却し、通常ごみのみを焼却した場合との比較を行った。

③ 実施清掃工場

試験焼却を実施した清掃工場は、表－1 のとおりである。

表－1 実施清掃工場と試験焼却の概要

	大田清掃工場	品川清掃工場
焼却能力	600 t / 日 (200 t × 3 炉)	600 t / 日 (300 t × 2 炉)
試験焼却炉	3 号炉 (比較焼却炉 1 号炉)	2 号炉 (比較焼却炉 1 号炉)
災害廃棄物搬入日	平成23年12月10日 (土) 12月13日 (火)	平成23年12月17日 (土) 12月20日 (火)
災害廃棄物搬入量 (t)	58.91	81.40
混合ごみ焼却量 (t)	313.13 (混合比率18.8%)	406.92 (混合比率20.0%)
試験焼却期間	平成23年12月13日 (火) ～14日 (水)	平成23年12月20日 (火) ～21日 (水)
測定期間	平成23年12月10日～16日	平成23年12月17日～23日

※試験焼却炉：混合ごみを焼却処理した炉

※比較焼却炉：通常ごみのみを焼却処理した炉

④ 試験焼却の測定項目

排ガス、排水、焼却灰等に及ぼす影響や、焼却施設及び周辺環境への影響等を検証するため、次の項目について測定した。

ア 排ガス：煙突排ガス（26項目＋ダイオキシン類＋アスベスト＋放射能濃度）

煙道（4項目）

イ 排水：放流水（52項目＋ダイオキシン類＋放射能濃度）

ウ 焼却灰等（主灰、飛灰、飛灰処理汚泥、汚水処理汚泥）

(ア) 水分、熱しゃく減量、かさ比重

(イ) 含有試験(13項目)、溶出試験(17項目)、性状分析(15項目)

(ウ) ダイオキシシン類、放射能濃度

エ 空間放射線量率：敷地境界

オ 運転データ：自動測定装置計測結果、各種運転データ

ア～ウ及びエの測定は、それぞれ第三者機関及び実施清掃工場の職員による。オの測定は、処理設備の計装機器による。

なお、各項目の測定は、JIS及び国の通知等の測定方法に基づき実施したものである。

(2) 試験焼却測定結果の評価

宮城県女川町から発生した災害廃棄物を当組合の施設でおおむね20%の混合比率で焼却した結果、法令等に適合した処理ができた。また、ごみ焼却の状況は通常ごみ焼却時と同程度であった。

なお、資料編に掲載した試験焼却測定結果に基づく各測定項目の評価は、表-2のとおりである。

表-2 各測定項目の試験焼却測定結果の評価

測定項目	試験焼却測定結果の評価
ア 排ガス	<ul style="list-style-type: none">測定結果は、すべて法規制値及び協定値を下まわった。放射能及びアスベストは不検出であった。測定結果は、比較焼却炉と同程度であり、災害廃棄物を焼却した影響は見られなかった。また、各測定値は、全工場測定値（平成22年4月～23年11月）から判断して通常の焼却による出現範囲であった。
イ 排水	<ul style="list-style-type: none">測定結果は、すべて法規制値及び協定値を満足した。放射能は不検出であった。測定値は、全工場測定値（平成22年4月～23年11月）から判断して通常の焼却による出現範囲であった。
ウ 焼却灰等 (主灰、飛灰、飛灰処理汚泥、汚水処理汚泥)	<ul style="list-style-type: none">測定結果は、すべて法規制値等を下まわった。放射能の測定値は、平成23年度それぞれの実施工場測定値から判断して通常の焼却による出現範囲であった。その他の測定値は、全工場測定値（平成22年4月～23年11月）から判断して通常の焼却による出現範囲であった。
エ 空間放射線量率	<ul style="list-style-type: none">試験焼却実施前、実施中、実施後で同程度であり、災害廃棄物を焼却した影響は見られなかった。
オ 運転データ	<ul style="list-style-type: none">各運転データは、通常ごみ焼却時と同程度であり、災害廃棄物を焼却した影響は見られなかった。

上記の試験焼却の方法、測定結果の評価は、東京二十三区清掃一部事務組合（以下「清掃一組」）発表の資料を抜粋

2 住民説明会

(1)葛飾清掃工場実施分

平成24年2月 3日(金) 午後7時から9時

49名参加(内区民46名)

[主なご意見]

- ・受け入れる災害廃棄物の安全性についてもっと詳しく聞きたい
- ・焼却灰を運搬する際の飛散防止対策を聞きたい
- ・バグフィルターが破損した場合の対策を聞きたい など

(2)かつしかエコライフプラザ実施分

平成24年2月16日(木) 午後7時から9時

※主なご意見などについては追加資料

3 本格受け入れについて

(1)受入期間

平成24年3月以降、平成25年3月まで

(2)受入工場

稼働中の全清掃工場を対象に、清掃一組が搬入調整を行う。

(3)受入量

1日平均150t

(4)焼却処理方法

- ①通常の可燃ごみと災害廃棄物をバンカ内で混合・かくはんする。
- ②焼却炉投入時における通常の可燃ごみに対する災害廃棄物の混合比率は10%以下とする。

(5)受入計画及び受入量の公表

①月間の計画

毎月の受入計画を前月の20日を目途に、清掃一組ホームページに掲載

②週間の計画

毎週の受入計画を前週の金曜日に、清掃一組ホームページに掲載

③受入実績

毎週の受入量を翌週の金曜日に、清掃一組ホームページに掲載

